

解答範囲は、解答番号

1

 から

28

 までです。

(二) 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

(注) ○再生産領域Ⅱ交換価値のあるモノやサービスを生産する公的な領域に対して、現在と未来の労働者を提供し、労働者として働けない人をケアする私的な領域のこと。 ○ジェンダー・バイナリⅡ性別二元論。性・ジェンダーを「男」と「女」のいずれかに分類する社会規範のこと。

(飯田祐子「家族ゲームの世紀」による)

一般選抜入試(中期日程) 国語(2月15日)

問一 傍線部⑦～⑩にあたる漢字を、次の各群のうちから一つずつ選びなさい。

解答番号

1 4

⑦	⑧	⑨	⑩
ヘンソウ	ヘンソウ	ヘンソウ	ヘンソウ
1	2	3	4
想	掃	奏	送
①	②	③	④
タツカン	タツカン	タツカン	タツカン
2	3	4	1
還	完	感	観
①	②	③	④
ゾウヨク	ゾウヨク	ゾウヨク	ゾウヨク
4	3	2	1
飾	殖	植	食
①	②	③	④
ヘンヨウ	ヘンヨウ	ヘンヨウ	ヘンヨウ
3	2	1	4
容	妖	要	庸
①	②	③	④

問二 傍線部①「それを被る者」を説明したものとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

5

- ① 明治という新しい時代がもたらす断絶や変化に翻弄される者。
- ② 明治という時代の変革に抵抗し、断絶や変化を克服しようとする者。
- ③ 明治という新しい時代が生み出す断絶や変化に素早く適応していく者。
- ④ 明治という時代の転換期に生じる断絶や変化を受け流して生きていく者。

問三 傍線部②「漱石が描く他者は、つねに不安の根源である」の説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

6

- ① 漱石が描く他者は、自分とは異なる一貫した意志を持つ存在であり、容易にコントロールできるものではないので、一定の距離をもって接するしかないということ。
- ② 漱石が描く他者は、自分に向けて明確な欲望を抱いているが、自分の欲望とは一致したいものが含まれるので、安定的な関係を結べない厄介な存在であるということ。
- ③ 漱石が描く他者は、自分の想定を外れた理解しがたい存在だが、それでも関係を結ばざるを得ないので、不安定な自己をさらに不安に陥れる根本要因であるということ。
- ④ 漱石が描く他者は、自分以上に不安定な存在であるにもかかわらず、必ず関係しなければならぬ存在なので、自分の不安をかきたてる張本人であるということ。

問四 傍線部③「めでたしめでたし、というような小説を漱石が書くはずがない」とありますが、その理由を説明したものとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

7

- ① 恋愛結婚には近代社会の性役割分業が組み込まれており、漱石自身もそうしたジェンダー規範に縛られ、異性愛に対して否定的であったと考えられるから。
- ② 恋愛結婚そのものが当時の新しい様式であり、漱石自身も恋愛や結婚、家族といった避けられない人間関係に不安や違和感を持っていたと考えられるから。
- ③ 恋愛においては男と女の深い関係が成り立っても、結婚して家族になれば、不安定な関係を避けられないという考えを漱石が抱いていたと考えられるから。
- ④ 漱石が書き進めた『明暗』に描かれる夫婦は、終わりのないゲームを演じており、社会が求める理想的な夫婦の形を求めて悩み続けていると考えられるから。

問五 傍線部④「家族ゲームの特異性」を説明したものとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

8

- ① 選択の余地が少ないがゆえに、不満を残さないように、最善の解決を求めようとする傾向。
- ② 自分が選択したものであるがゆえに、無理に解決を求めず、互いにいたわり合うとする傾向。
- ③ 簡単にリセットできないがゆえに、解決を先送りし、期待と現実のずれを見ようとする傾向。
- ④ 逃げ場が少ないがゆえに、勝敗による解決ではなく、不具合を抱えながらも継続しようとする傾向。

問六 空欄 A、B、C を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号

9

- ① A けれども B しかし C しかも
- ② A しかし B とはいえ C けれども
- ③ A しかし B しかも C とはいえ
- ④ A とはいえ B けれども C しかし

問七 傍線部⑤「何らかの『均衡』」と傍線部⑥「三角関係」との関係の説明したものとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

10

- ① 『明暗』は、根本的な決着なしに、不具合を抱えたまま継続していく方向性を示しているが、一方で、そうした夫婦の二者関係を脅かすような他者の介入を通して、終わりのない複雑な家族ゲームを描いている。
- ② 『明暗』は、近代社会のジェンダー規範によって、とりあえずの妥協案を提示するが、一方で、そうした夫婦の二者関係に第三者を介在させることで、家族ゲームの安易な結末を回避している。
- ③ 『明暗』は、逃げ場のない二者関係の解決策として妥協という常識を導入しているが、一方で、そうした安易な展開を批判するために、第三者を登場させて根本的な決着を目指そうとしている。
- ④ 『明暗』は、終わりのない家族ゲームを描くために夫婦の二者関係の駆け引きを強調しているが、一方で、より難解なプロットにするために三角関係を導入し、これまでにない近代小説の新鮮さを演出している。

【引用部分は削除しています】

(二) 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

- 問八 空欄 と を補うのに最も適当なものを一つ選びなさい。
- 解答番号
- ① X 解消 Y 退廃

② X 解除 Y 変形

③ X 解決 Y 自嘲

④ X 解体 Y 失調
- 問九 文章全体を踏まえたうえで、本文一行目の二重傍線部「あるテーマ」に明らかに含まれないものを一つ選びなさい。
- 解答番号
- ① 恋愛結婚における夫婦の葛藤。

② 近代家族における性役割分業の克服。

③ 三角関係がもたらす異性愛中心主義の動揺。

④ 自己と他者との避けられない不安定な関係。

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

〔竹内敏晴「時満ちくれば―「愛」へと至らんとする15の歩み」による〕

- 〔注〕
- 癪病＝ハンセン病。不当な差別の対象となった歴史がある。 ○グループセラピー＝患者のグループと治療者で行う、集団精神療法。 ○母国語＝ここでは母語のこと。 ○赤子＝『野ざらし紀行』原文では「三つ計なる捨子」。 ○父を恨むな母を恨むな＝『野ざらし紀行』原文では「ち、は汝を悪にあらじ、母は汝をうとむにあらじ」。
- 野ざらし紀行の冒頭＝『野ざらし紀行』は松尾芭蕉一作品の紀行作品。本文で言及されているエピソードを「冒頭」とするのは筆者の考え。 ○衆生＝仏教において、全ての生きているものを指すことば。 ○イブセン＝ヘンリック・イブセン。ノルウェーの劇作家、詩人、舞台監督。「近代演劇の父」と称される。一八二八―一九〇六。
- トルストイ＝レフ・ニコラエヴィチ・トルストイ。帝政ロシアの小説家、思想家。一八二八―一九一〇。 ○ノラ＝イブセンの戯曲「人形の家」の主人公。 ○神は死んだ＝人々が神への信仰を失い、虚無感を抱えるようになったという認識を表したことば。哲学者フリードリヒ・ニーチェの用語。 ○M・ブーバー＝マルティン・ブーバー。オーストリア出身のユダヤ系宗教哲学者、社会学者。一八七八―一九六五。
- ハイデッガー＝マルティン・ハイデッガー。ドイツの哲学者。一八八九―一九七六。

問一 傍線部①「人の身になる」とありますが、その説明として最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 13

- ① 他人の気持ちに寄り添い、その人のからだを自分の延長として捉える。
- ② 他人が必要としている行動を、その人の立場に立って推測する。
- ③ 他人のからだの状態を、あたかも自分のからだであるかのように感じる。
- ④ 他人の話をよく聞いたうえで、その人の利益となる行動をとる。

問二 空欄 A に入る語句として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 14

- ① 必然的な ② 意識的な ③ 自然な ④ 親切的な

問三 傍線部②「私たち日本人にとっては事態はまるで異なる」とありますが、その説明として最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 15

- ① キリスト教文化圏では困っている人を助けたいという感情に従った行動が推奨されるが、日本にはそのような感情を抑圧する倫理的規範が存在する。
- ② キリスト教では他人に対して愛をもって行動すべきだとされるが、日本の仏教においては自身の率直な気持ちに沿って行動すべきだと考えられている。
- ③ キリスト教の影響を受けた文化では助けるべき他人の範囲が厳格に定められているが、日本の文化ではその範囲が個々人の判断に委ねられている。
- ④ キリスト教の倫理観を基盤とした文化においては他人を助けることが当然であるとされるが、日本文化においては個々人の感情に委ねられている。

問四 傍線部③「かれにとってもそれは心に重いことであつた」を説明したものとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 16

- ① 無力な赤子を助けなかったことに対して、倫理的な後ろめたさを感じた。
- ② 仕方がないとはいえ赤子を救えなかった自分自身に、無力感を感じた。
- ③ 子を捨てざるを得ない農村の貧しさを目の当たりにし、世の無常さを感じた。
- ④ 当時の慣習に従って干渉を避けたものの、捨て子の行く末に哀れみを感じた。

問五 空欄 X Z を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号 17

- ① X そして Y そのため Z けれども
- ② X しかし Y ひいては Z ところが
- ③ X また Y ならびに Z とにかく
- ④ X だが Y つまりは Z とすると

問六 傍線部④「ヨーロッパ人たちにとって……すりぬけて落ちていってしまうような事柄なのではないだろうか」とありますが、その説明として最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 18

- ① 日本には「人格」という概念が存在しなかったため、日本人は「人格の分解」という言葉を聞いて納得したつもりになっても、ヨーロッパ人にとつての意味を実感を伴って受け容れることが難しい。
- ② ヨーロッパにおいては不変の人格がそれぞれの場によってさまざまなペルソナに分裂して現れるが、日本においては個人の中心となる不変の人格というものが存在しない。
- ③ ヨーロッパ人は演劇の登場人物が確固たる輪郭を持つことを前提としており、そのために人が場に応じて異なる役割を演じることを新発見だと感じたが、日本人にとつてそれは至極当然のことであった。
- ④ 二項関係の中で柔軟な人格を持つ日本文化においては、確固とした輪郭を持つ「人格」は自明のものであり、二十世紀のヨーロッパの演劇で主題となった「人格の分解」は決して起こりえない。

問七 傍線部⑤「私を神が見給うことは、他の人の上にも神がい給うこと」とありますが、この説明として最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 19

- ① 仮面の下に隠され、神に守られた他人の本質的な「人格」に自分が触れられるのなら、相手も自分の「人格」に触れることができるということ。
- ② 「人格」は神の領域に属する貴いものであり、自分のものであれ他人のものであれ、下手に手を触れると大きな代償を支払うことになるということ。
- ③ 人間が持つ「人格」は、神の前に立ったときのようにむき出しでこまかしのきかないものであり、それは誰の「人格」に関しても同様であるということ。
- ④ 人間が唯一「人格」をさらけ出すのは神の前のみであるため、他人の「人格」には神を通してのみ触れることができるということ。

問八 この文章の内容に合致するものを一つ選びなさい。

解答番号 20

- ① 筆者は耳が不自由であったために多くの人から助けってもらったことがあるにもかかわらず、これまで身体が不自由な人を助けることをしてこなかった。
- ② 援助するということは本来、好き嫌いといった感情に左右されず、また見知らぬものであっても、生きものであるをさしのべるという意味である。
- ③ 筆者の授業の受講生の中で、ブーバーのいう「顧慮的援助」としてコミュニケーションをイメージしている学生は、そうでない学生より少なかった。
- ④ 仮面に守られていない相手の「人格」に手をさしのべるということは、相手を傷つけ、「人格」を分解させる危険の伴う行為であり、慎重でなければならない。

(二) 左の文章は、老人が過去を回想して語る形式で、花山院（花山天皇）の逸話を列記したものです。これを読んで、後の問いに答えなさい。

花山院の、御出家の本意あり、いみじう行はせ給ひ修任せさせ給はぬところなし。されば、熊野道に千里の浜といふところに、御心地そこなはせ給へれば、浜づらに石のあるを御枕にて大殿籠りたるに、いと近く海人の塩焼く煙の立ちのぼる心細さ、げにいかにあはれに思されけむな。

旅の空夜半の煙とのほりなば海人の薬塩火焚くかとや見む

かかるほどに、御駈いみじうつかせ給ひて、中堂にのぼらせ給へる夜、験競べしけるを、読みむと思し召して、御心のうちに念じおはししければ、護法つきたる法師、おはします御屏風のつらに引きつけられて、ふつと動きもせず。あまり久しくなれば、今はとてゆるさせ給ふ折ぞ、つけつる僧どものがり、をとりいぬる。（中略）

冷泉院の南の院におはしし時、焼亡ありし夜、御とぶらひにまゐらせ給へりし有様こそ不思議にさぶらひしか。御親の院は御車にて二条町尻の辻に立たせ給へり。この院は御馬にて、頂に鏡入れたる笠、頭光に奉りて「いづくにかおはします、いづくにかおはします」と、御手づから人ごとに尋ね申させ給へば、「そこそこになむ」と聞かせ給ひて、おはしし所へ近く降りさせ給ひぬ。御馬の鞭、腕に入れて、御車の前に御袖うち合はせて、いみじうつきづきしう居させ給へりしは、さることやははべりしとよ。それにまた、冷泉院の、御車のうちより高やかに神楽歌をうたはせ給ひしは、さまざま興あることを見聞くかなとおほえさぶらひし。明順のぬしの「庭火、いと猛なりや」とのたまへりけるにこそ、万人え耐へず笑ひ給ひにけれ。（中略）さすがに、あそはしたる和歌はいづれも人の口に乘らぬなく、優にこそうけたまはれな。「ほかの月をも見てしがな」などは、この御有様に思し召しよりけることもおほえず、心ぐるしうこそさぶらへ。あてまた、冷泉院に爭奉らせ給へる折は、

A 世の中にふるかひもなきだけのこはわが経む年を奉るなり
御返し、

B 年経ぬる竹の齡を返してもこの世をながくなさむと思ふ
「かたじけなく仰せられたり」と、御集にはべるこそあらへ。(中略)

この花山院は、風流者にさへおはししけるこそ。(中略) 入道殿、競馬させ給ひし日、迎へ申させ給ひけるに、わたりおはします日の御装はさらなり、おろかなるべきにもあらねど、それにつけても、まことに、御車のさまこそ世にたくひなくさぶらひしか。御香にいたるまで、ただ、人の見物になるばかりこそ、後には持て歩くとうけたまはりしか。

あて、御装あそばしたりし、興あり、さは、走り車の輪には、薄墨に塗らせ給ひて、大ささのほど、幅などのしるしには墨をにほはさせ給へりし、げにかくこそ描くべかりけれ。あまりに走る車は、いつかは黒さのほどやは見えはべる。また、笋の皮を男の指ごとに入れて、目ががうして児をおとせば、顔を赤めてゆめう怖たるかた、また、徳人・たよりなしの家のうちの作法など描かせ給へりしが、いづれもいづれも、さぞありけむとのみ、あさましうこそさぶらひしか。

(「大統」による)

(注) ○花山院 花山天皇。平安時代中期の天皇。一条天皇への譲位後に花山院となった。 ○千里の浜 現在の和歌山県日高郡みなべ町の海岸。熊野三所権現への参詣途中の景勝地。 ○御験 仏道の修行を積んで得る能力。 ○中堂 比叡山延暦寺の根本中堂。 ○護法 護法童子の略。僧侶が物の怪を折り伏せる際などに用いる善神。

○冷泉院 冷泉天皇。花山天皇の父。 ○南の院 東三条院の南院。東三条院は現在の京都市中京区、二条通より南、新町通と西洞院通の間にあった。 ○焼亡 寛弘三年(一〇〇六)十月五日の火事。 ○二条町尻の辻 現在の京都市中京区二条通と新町通の交差する角にあたる。 ○この院 花山院のこと。 ○頭光 仏像の頭の後ろにある、輪の形をした光。後光を表す。 ○御馬の腰腕 に入れて 腰についている紐に腕を通し。 ○さることやははべりしとよ そんなことがまだかつてあったでしょうか(いや、ないでしょう)。 ○明順のぬし 高階明順。平安時代の貴族。 ○庭火 夜に庭で、多くは神楽の上演の際に照明として焚く火。 ○ほかの月をも見てしがな

「『ころみにはかの月をも見てしがな我が宿からのあはれるかと』(『詞花和歌集』)をふまえる。「試みに他の場所からも月を見てみたい、私がいる場所のせいでも悲しく見えるのだろうかと思うので」の意。 ○あてまた きてまた。 ○御集 花山院の歌集『花山院御集』。現在は散逸し、断片的に伝わる。 ○入道殿 藤原道長のこと。平安時代の貴族。 ○否 足を覆うように布などで作るはきもの。 ○幅 車軸と車の輪をつなぐために、輪の内側に放射状に入れた多くの細い棒。 ○目ががう 下まぶたを指で引いて目を見せること。あかんべえ。 ○徳人・たよりなしの 財産のある人、また貧乏な人の。 ○作法 生活のありさま。

問一 傍線部①「心細さ」とありますが、花山院が感じた「心細さ」の内容の説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 21

- ① 仏道修行に励んだが、さらに厳しい修行を積める適当な場所がなかったこと。
- ② 千里の浜で病気になるが、浜辺で石を枕にして寝るだけで医師にもしてもらえなかったこと。
- ③ 自分のいる場所に非常に近いところに藻塩を焼く海人がいるというのに、自分のことを心にかけてくれなかったこと。
- ④ 海人が藻塩を焼く煙の立ちのぼる様子が、自分の身体の火葬されるさまを思わせたこと。

問二 波線部a「試みむ」、b「おはします」、c「をどりいぬる」の主語の組み合わせとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 22

- ① a 僧ども b 法師 c 僧ども
- ② a 花山院 b 花山院 c 法師
- ③ a 花山院 b 法師 c 僧ども
- ④ a 僧ども b 花山院 c 花山院

問三 傍線部②「焼亡ありし夜」とありますが、これは、東三条院の南院で火事が起きた夜のことをさしています。この時起こったできごとを述べたものとして、適当でないものを一つ選びなさい。

解答番号 23

- ① 花山院は馬に乗り、鏡入りの笠を仏像の後光のような形にかぶって火事見舞いに来た。
- ② 花山院は自ら、その場にいた人々にいちいち、冷泉院はどこらにいかと尋ねて回った。
- ③ 冷泉院は牛車の前で、服の両袖を合わせて非常にかしこまった様子で座っていた。
- ④ 冷泉院は火事を避け、乗っていた牛車の中から、大きな声で神楽歌を歌った。

問四 傍線部③「降りさせ給ひぬ」を品詞分解したものとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 24

- ① 動詞「降る」の未然形+尊敬の助動詞「ます」の連用形+尊敬の補助動詞「給ふ」の連用形+完了の助動詞「ぬ」の終止形
- ② 動詞「降る」の連用形+使役の助動詞「ます」の連用形+尊敬の補助動詞「給ふ」の連用形+否定の助動詞「ず」の連止形
- ③ 動詞「降る」の未然形+使役の助動詞「ます」の連用形+尊敬の補助動詞「給ふ」の連用形+完了の助動詞「ぬ」の終止形
- ④ 動詞「降る」の連用形+尊敬の助動詞「ます」の連用形+謙譲の補助動詞「給ふ」の連用形+否定の助動詞「ず」の連止形

英語	日本史	世界史	政治・経済	数学（文系型）	数学（理系型）	物理	化学	生物	正解・正解例	講評	国語
----	-----	-----	-------	---------	---------	----	----	----	--------	----	----

一般選抜入試(中期日程)

国語(2月15日)

問五 Aの和歌「世の中に……奉るなり」は花山院、Bの和歌「年経ぬる……なさむとぞ思ふ」は冷泉院の詠んだものです。それぞれの和歌の解釈として、最も適當なものを一つ選びなさい。

解答番号

25

① Aは、自分とはともかくも生きながらえてきた、これからも年を重ねたいが、筈のように、これから伸びる年月を、子として差上げたい、受け取って頂けるだろうかと意向をうかがう歌である。Bは、自分はむしろ寿命を縮めたい、そうすると、そのかわりに子の方が長く安泰に過せるだろうと推しはかる歌である。

② Aは、生きながらえても仕方のない自分は年を重ねてしまったが、筈のように、これから将来伸びて行く年月を差上げたいと父の長寿を願う歌である。Bは、自分は長く生きてきた、その年を天に返して子の方あなたに与え、長く安泰に生きてほしいと、子の行く末を祈る歌である。

③ Aは、自分とはともかくも生きながらえてきた、これから伸びる年月のかわりに、子として筈を差上げたいと自らのこれまでの人生を誇る歌である。Bは、自分の生きてきた年月はもつと長い、もう折り返しに来ているが、まだまだ子とともに自分も安泰に長生したいと張り合う歌である。

④ Aは、生きながらえても仕方のない自分は、これから伸びて行く年のかわりに、子としてあなたに筈を差し上げることしかできないのだと自嘲する歌である。Bは、自分は長く生きてきた、残りの寿命を天に返したい、そうすれば子の方あなたは長く安泰に生かれるだろうと、子の将来を^{とほ}歌である。

問六 傍線部④「おろかなるべきにもあらねど」の解釈として、最も適當なものを一つ選びなさい。

解答番号

26

- ① いいかげんな服装であるはずもないのであるが
② 突飛な服装をしても間違いではないのであるが
③ つまらない服装をしてはいけないのであるが
④ 質素な服装でいることもないのであるが

問七 傍線部⑤「御絵あそばしたりし、興あり」とありますが、語り手が「興あり」と考える理由として、^{ふさわしい}、^{ふさわしくない}、^{ふさわしくない}、^{ふさわしくない}、^{ふさわしくない}の、^{ふさわしくない}を一つ選びなさい。

解答番号

27

- ① 走っている車の輪を描いた時に、速度感を出すために薄墨で塗って描いたこと。
② 走っている車の輪の大きさや幅を、速度感を出すためにわざとぼかして描いたこと。
③ 男が筈の皮を指にはめ、目をむいて子どもをおどす様子を怖ろしげな筆致で描いたこと。
④ 本来知っているとは思えない、裕福な家や貧乏な家の暮らしの様子をさもありそうに描いたこと。

問八 「大統」は、藤原道長の事績を多く記した歴史物語です。同様の歴史物語として、最も適當なものを一つ選びなさい。

解答番号

28

- ① 「狭衣物語」 ② 「沙石集」 ③ 「明月記」 ④ 「栄花物語」